ささえあう　地域づくりが　仕事です

2021.3.1

No.198

すぎなみ社協

社会福祉法人
杉並区社会福祉協議会
社協は地域福祉を推進する
社会福祉法人（民間団体）です。

Facebookもチェック
https://www.facebook.com/sugisyakyo/

杉並社協のマスコット
キャラクター「うぇるくん」

広報紙「すぎなみ社協」は8月、10月、12月、3月の1日発行です。
また、杉並区社会福祉協議会ホームページでもご覧になれます。 杉並社協 検索

主な記事
2・3面 ●東日本大震災から10年 3.11を忘れない
4面 ●令和2年度赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並2階・4階　☎03(5347)1010(代) Eメール fukushi@sugisyakyo.com

学生の自主性をささえる

地域や社会とつながるきっかけ作り

福祉で JOY JOIN！ 楽しく参加
ささえあう 地域福祉の輪 40

―― ボランティアに興味を持ったきっかけ

大学時代に「ブラジル人の子どもと関わる機会がある」と誘われ、外国人労働者の子の学習を補助する活動に参加しました。最初は自身の語学勉強に役立てるためでしたが、活動を通して社会に課題があると気づき、自分がどう関われるのかを考えるようになったのです。そんな経験から、学生たちに「ボランティアは気軽にできるし、学びや気づきがたくさんある」ことを伝えたくて、この仕事を選びました。

―― コーディネーターの役割

明治大学の各キャンパスのボランティアセンターでは、コーディネーターが学生と地域をつなぐ役割を担っています。和泉ボランティアセンターは 2008 年に開設されました。当初は福祉関連が中心でしたが、東日本大震災以降は災害支援、環境問題、難民問題など学生の関心も広がっています。

コーディネーターは、関係機関から届く情報を整理して、学生へ情報提供しています。また、学生がボランティアに参加しやすいようイベントの企画立案や、外部からの依頼に応じて活動を創るサポートもしています。

―― 学生を支える上で大切にしていること

以前より学生は忙しくなっていると感じますが、ボランティアは自主性が大事ですので、コーディネーターが口出しし過ぎないようにバランスやタイミングを大切にしています。

ある時、学生が視覚障害の方と一緒に映画を観る「バリアフリー映画祭」を企画したのですが、予算確保が課題でした。そこで助成金の情報を伝えたところ、学生自らが申請書類を作成し提出したのです。音声ガイド作りなどの作業も多くて大変でしたが、やりたいことを実現する達成感もあったと思います。やると決めたらやりきる経験を大事にしてほしいですね。

―― コロナ禍でもつながりを持ち続けるために

地域の高齢者との茶話会が、昨年３月から中止になりました。そこでケア 24 永福と協力して、学生が書いた手紙を高齢者へ届けるという活動を、５月に行いました。学生が考えた「会える日を思って今日もやさしく」という共通のメッセージを、それぞれが筆ペンで書いたり、キャラクターの便箋を使ったり工夫して思いを伝えました。また、オンラインを使って、施設入所者に学生のピアノ演奏を楽しんでもらう活動もしました。

大学生活の４年間はあっという間！　将来を考える貴重な時期ですので、彼らの思いをどのように実現させてあげられるか、そのために何をすべきか、私も一緒に模索していきたいと思っています。

明治大学和泉ボランティアセンター コーディネーター　和田（わだ）　更沙（さらさ） さん

他大学のボランティアコーディネーターや、東京ボランティア・市民活動センターでの勤務を経て、2012年から明治大学和泉ボランティアセンターへ着任。杉並ボランティアセンターの運営委員としても活動している。

https://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html

音声コード
専用の読み上げ装置で読み取ってください。

東日本大震災から10年

～3.11を忘れない～「南相馬市への支援を通じて」

2011年３月11日14時46分、震源域が岩手県沖から茨城県沖におよぶマグニチュード9.0の地震が発生。

福島県浜通り地域では、東京電力福島第一原子力発電所事故の発生で、地震・津波・放射能という未曽有の複合的災害となりました。

首都圏でも、震度５強・５弱を記録しました。電話がつながらない、家族の安否もわからない等、混乱と不安が広がりました。また、鉄道各社一斉運休のため、主要道路の歩道は歩いて目的地へ向かう人であふれ、帰宅困難者も発生しました。

杉並区は、震度５弱を記録し、瓦が落ちる、塀が倒れるなどの多くの建物被害がありました。

未曽有の大災害から10年を迎えるにあたり、杉並社協が支援を続けてきた福島県南相馬市、また杉並社協とともに支援にご協力いただいた団体からメッセージをいただき、東日本大震災の記憶を風化させることなく、近い将来に必ず来ると言われる「首都直下地震」への備えにしていきたいと思います。

福島県南相馬市から

南相馬市社会福祉協議会　地域福祉課長　佐藤（さとう） 清彦（きよひこ）さん

2011年3.11… 南相馬市では636人が尊い命を亡くし、87人がいまだ行方不明。加えて絶対安全といわれた原発が爆発し、私たちの生活は一変した。原発事故による市民の分断、高齢化率の急上昇、心のケア問題、人材不足など、先行き不安定な状況が長く続いている。私自身は自宅への被害はほとんどなかったが、家族と離れ離れの生活を約5年間経験した原発事故被害者のひとりである。（この避難行動は、後に“自主避難”と分別される）

杉並区社協の皆さんには、原発被害により災害ボラセンの運営に苦慮する私たちの支援にいち早く駆けつけていただいた。杉並区民の皆さんにも、災害ゴミの片づけ作業のみならず、当時仮設住宅で暮らす人たちとの交流で心を癒やしていただいた。10年たとうとする現在もなお多くの南相馬市民との“絆”をつむいでいただいている。

震災でご支援いただいた方々への「３つの感謝」がある。①放射能の怖さを知りながらも南相馬市を選んで足を運んでいただいたこと。②私たちに代わって南相馬市をきれいにしていただいたこと。③それぞれの地元に戻ってから正しく現状を伝えていただくことで風評被害の軽減に貢献いただいていること。私が災害ボラセン業務を通じて感じたことであるが、生涯語り継ぐ感謝の気持ちである。

地域福祉は“人と人との支え合い”が基軸である。大きな震災があっても無くならない大切なものが地域社会には残っていた。今回の新型コロナ騒動は原発事故後の状況と似ている感じがする。情報や物資等の不足による生活面への影響や精神的不安、誤解や偏見や差別、人の心の弱さや浅ましさなどを見聞きした時、とても寂しい気持ちになる。人は誰でも「人を助けたい・人の役に立ちたい」気持ちを持っている。こんな時だからこそ、みんなが小さな助け合いを重ねて困難を越えていきたいと思う。

最後に、私には未来に描いている風景がある。南相馬と杉並出身の子どもが大きくなり将来どこかで出合い、力を合わせてともに日本社会を支えていく姿である。震災後、物心両面から支えていただいた杉並区の方々の存在は多くの南相馬市民の心の支えになっている。これからもそれぞれの立場で交流を交わし、未来への“絆のバトン”をつないでまいりましょう！これまでの10年の関わりに感謝を込めて☆

災害支援に行った杉並区民から

杉並災害ボランティアの会　代表　多田（ただ） 邦晃（くにあき）さん

「支援から交流へ」

2014年９月、杉並社協主催の災害ボランティアセンター（以下「VC」という）運営スタッフ養成講座２期の講座内での南相馬フィールドワーク（１泊２日）で南相馬市小高区の災害復旧復興ボランティアセンターを訪れました。すでに震災から3年半あまりが経過していましたが、この時期は福島第一原発から 20Km 圏内の小高区が避難指示解除準備区域にあたり、自宅に戻る準備のための家屋や庭の片づけなどのニーズが多くありました。災害 VC 南相馬社協の方から災害 VC 運営の仕組みや南相馬の現状を詳しく説明していただきました。

また、南相馬市は原発避難の影響もあり震災関連死と認定された数は東北の市町村でもっとも多い数です。災害ボランティアというとがれきの撤去や泥のかき出しという肉体的なことばかりと思われがちですが仮設住宅などでの清掃活動、集会所でのハンドマッサージ、肩もみなどのプログラムの提供など、被災者との交流もとても大事な活動だと考えています。仮設住宅閉鎖後も大甕（おおみか）学習センターなどを使用して交流プログラム「しゃべっぺ・くうべ」を開催してきました。

昨年はコロナの影響で開催することができませんでしたがこれからも活動を継続していきたいと思います。

音声コード
専用の読み上げ装置で読み取ってください。

▶ いつ起きるかわからない、いつ起きてもおかしくない　災害に備えて ◀

災害ボランティアセンターとは…

杉並区社会福祉協議会（以下　杉並社協）では、震度５強の地震など大規模災害時に「杉並区災害ボランティアセンター」（以下　災害VC）を設置・運営するという協定を杉並区と結んでいます。

災害VCでは、被災者の困りごとや支援の要望を受け付け、災害ボランティア活動者を支援活動につなげるというコーディネートを行います。

災害に備えた取り組み

■ **災害ボランティア入門講座**

■ **災害VC運営スタッフ養成講座**
　災害ボランティアの基礎を学ぶ入門講座や、運営に関わるスタッフを養成する講座を実施しています。

■ **災害VC立ち上げ・運営訓練**
　社協職員と講座修了生を中心に、ボランティア役とスタッフ役に分かれ、実際の災害時における動きを想定した訓練をしています。

■ **災害ボランティアネットワーク連絡会**
　区内関係機関・団体等との連携強化を目的に連絡会を開催しています。

災害VCの７つの役割

1. 被害状況の把握
2. 被災者のニーズ（困りごと）把握
3. 区内外からのボランティア（個人・団体）の受入れ及び調整
4. 被災者支援プログラム作り
5. さまざまなボランティア団体のコーディネート（つなぎ）
6. 情報発信・情報共有
7. 行政との連携・調整

ご自身での片付けが困難な方や、お困りごとを抱えた方を支援するために、大規模災害時に「杉並区災害 VC」を設置します。災害発生時にはボランティアとしてご協力いただける方を募集いたします。皆さんのお力をぜひお貸しください。

災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました!!

令和２年12月13日（日）　ウェルファーム杉並

今回の訓練では、ボランティア募集等情報発信、ボランティア受付、ニーズ受付、マッチング、送り出しのセンター運営について、感染症対策等の新たな試みを取り入れて実施しました。

また、感染防止のため規模を縮小し、職員による訓練となりました。

受付の様子

説明の様子

今回の新たな試み…

① **感染予防対策**
- ○マスク、手指消毒等を参加者全員が実施
- ○ビニールガウンを着用してのボランティア受付の実施
- ○受付やマッチング等ボランティアが密になりうる場のソーシャルディスタンスの確保

② **LINEのオープンチャットを使った情報発信**
- ○ LINE（仮アカウント）を使った情報共有

③ **WEBフォーム等からの事前登録**
- ○事前にボランティア申し込みが出来るようにしました。

今後の災害ボランティアセンターの運営として
- ○受付やオリエンテーションはオンラインを活用
- ○分散型の災害ボランティアセンター　サテライト設置を検討

情報発信の練習

また本年度から災害対応についてのアドバイザーをお願いしている、宮﨑賢哉氏（災害支援・防災教育コーディネーター）にさまざまなアドバイスをいただきながら、職員の理解を深化させること、そして新型コロナウイルス感染症予防を意識し、「人と人ができるだけ接触しない」災害ボランティアセンター運営を考えるよい機会となりました。

今後、この訓練をさらに強固にし、杉並社協は災害に備えていきます。

災害への支援　被災地へ行かなくてもできる支援
- 被災地への寄附金
- 共同募金会などが行う募金活動への協力
- インターネットや通販で被災地の商品を買う
- 被災地が必要としている物品の送付

災害への備え　一人ひとりができること
- 食料や消耗品の備蓄
- 避難場所の確認
- 家族や会社などの連絡手段の確認
- 耐震器具等の設置
- 災害について学ぶ

音声コード
専用の読み上げ装置で読み取ってください。

令和２年度　赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動

令和２年度の「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」は12月31日をもって終了いたしました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、児童・生徒とともに行っていた駅頭募金も実施できず、厳しい募金活動でしたが、町会・自治会、民生委員児童委員協議会、大勢の区民の皆さまにご協力いただきました。

ご賛同いただきました皆さまに心からお礼を申し上げるとともに、今後も地域福祉の推進にお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

東京都共同募金会杉並地区協力会　会長　鹿野　修二
社会福祉法人　杉並区社会福祉協議会　会長　髙　　武征

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金	6,052,553円
歳末たすけあい運動募金	7,877,667円

ご協力いただいた皆さま

町会・自治会

<清沓中通地区>
清和会
沓掛いづみ会
中通明和会
<下井草地区>
中瀬自治会
下井草東部自治会
柿木共栄会
四宮親交会
矢頭睦会
住吉親交会
井草一、二丁目自治会
<上荻地区>
荻窪白山親和会
上荻親和会
西荻北町会
仲よし町会
<上井草地区>
善福寺町会
新町自治会
三谷町会
上井草自治会
今川町親和会
宿町町会
井荻自治会
井荻三丁目会
さくら町会
<天沼地区>
天沼一丁目町会
天沼二丁目三よし会
天沼尚和会
天沼三丁目西町会
天沼三丁目あかるい町会
天沼二丁目町会
本天沼西町会
本天沼東町会
<荻窪地区>
荻窪川南町会
荻窪中央町会
荻窪東町会
南荻窪会
神明町文化会
西荻窪町会
荻窪五丁目町会
<馬橋地区>
高円寺緑ヶ丘町会
梅里二丁目町会
新高円寺町会
阿佐谷南一丁目東町会
馬橋二丁目北自治会
馬橋三丁目東自治会
馬橋自治会
阿佐谷南一丁目親睦会
<阿佐谷地区>
阿佐谷商店街振興組合
南阿佐谷自治会
阿佐谷南三丁目新和会
阿佐谷南三丁目町会
阿佐谷南一丁目中町会
阿佐谷一番街商店会
阿佐谷北二丁目町会
川端新興会
阿佐谷北五丁目町会
阿佐谷元六丁目町会
阿佐谷北一丁目町会
阿佐谷北口駅前スターロード商店会
阿佐谷東一番街町会
阿佐三会
阿佐谷北松山通親交会
阿佐谷南三丁目壱睦町会
阿佐谷南三丁目曙会
阿佐谷北三丁目町会
<成田地区>
東一会
東二会
成一自治会
成二町会
成三町会
西田自治会
松渓自治会
西田町会
シャレール荻窪自治会
都営荻窪2丁目アパート自治会
<和田地区>
和田自治協力会
和田一丁目町会
和田三丁目西町会
和田三丁目東町会
コーシャハイム杉並和田自治会
<堀ノ内松ノ木地区>
梅里一丁目町会
松ノ木町会
堀ノ内南町会
堀ノ内自治協力会
堀ノ内西町会
堀ノ内町会
堀ノ内一、二丁目町会
大宮二丁目自治会
<高円寺中央地区>
高円寺南一丁目東町会
高円寺南一丁目西町会
高円寺南二丁目東自治会
高南2南町会
高南自治会
高南二丁目町会
高円寺南五丁目町会
高円寺南中央町会
高円寺南氷川町会
高円寺パル商盛会
<高円寺北地区>
高円寺北一丁目町会
高円寺北中央自治会
高円寺中通町会
高円寺北庚申文化会
馬橋南自治会
馬橋北自治会
高円寺北四丁目新生会
<宮前地区>
宮前三丁目会
西荻南中央会
西荻南一、二丁目南部町会
久我山東自治会
都営久我山アパート自治会
久我山南自治会
久我山西自治会
松庵東町会
松庵町会
<高井戸地区>
上高井戸町会
高井戸中央町会
高井戸町会
都営高井戸団地自治会
区営高井戸西二丁目アパート桐の木自治会
高井戸東四丁目町会
都営高井戸東一丁目アパート自治会
高井戸第2ハイホーム自治会
ファミールグラン高井戸デュープレックス
富士見丘アパート自治会
<方南和泉地区>
方和自治会
方南東自治会
方南西町会
和泉第一町会
和泉第二町会
和泉第三町会
和泉西町会
方南二丁目町会
泉南町会
<下高永福地区>
下高井戸下町会
上町親交会
下高井戸仲町会
下高井戸二、三丁目町会
向陽町友会
浜田山町会
永福自治協力会
天神山町会
翠親和会
下高井戸四丁目中央町会
下高井戸三丁目町会
下高井戸五丁目住宅自治会
さくら野町会

法人・団体

杉並仏教会
東京城西ロータリークラブ
(特非)おでかけサービス杉並
(福)虹旗社

サロン

荻窪きずなサロン
きずなサロン ハート to Heart
きずなサロン さくら
高円寺北みんなのひ・ろ・ば
高井戸きずなサロン
阿佐谷南きずなサロン 虹
きずなサロン 庵
いぐさきずなサロン YY
きずなサロン めだか
方南和泉きずなサロン 峰
きずなサロン 下高ファイブ
あさ北きずなサロン
きずなサロンみんなのたまり場"松下さんち"
きずなサロン かりん
きずなサロン 華やぎ
きずなサロン 沖縄タウン

民生委員児童委員協議会

天沼地区民生委員児童委員協議会
荻窪地区民生委員児童委員業議会
井荻地区民生委員児童委員協議会
下井草地区民生委員児童委員協議会
阿佐谷地区民生委員児童委員協議会
方南和泉地区民生委員児童委員協議会
下高永福地区民生委員児童委員協議会
和田堀地区民生委員児童委員協議会
高円寺中央地区民生委員児童委員協議会
高円寺地区民生委員児童委員協議会
成田地区民生委員児童委員協議会
宮前地区民生委員児童委員協議会

福祉施設・学校

(福)聖友ホーム 聖友学園
杉並区立天沼中学校 生徒会
(学)野田鎌田学園 野田鎌田学園杉並高等専修学校

企業・商店

(有)しみず電器
小林デンキ店
JA東京中央城西支店
株式会社 豊栄美装
株式会社 大場造園
(有)南洋舎クリーニング店
コムシスエンジニアリング株式会社
苓州設備工業株式会社
東京山手食糧販売協同組合
株式会社 日本サービスセンター 平安祭典 城西支社

個人

8名

街頭募金

高円寺パル商店街

募金箱設置

杉並区保健福祉部管理課
(特非)プロップK
(福)サンフレンズ特別養護老人ホーム上井草園
(福)真松之会 和田堀ホーム
(福)八成グループ
(特非)デイサービス夢の飛行船
(特非)けやき精神保健福祉会 けやき亭
(特非)杉並いずみ第一・第二
(特非)ともしび会 高齢者在宅サービスセンター 大宮ふれあいの家
(特非)杉並介護者応援団 ゆうゆう高円寺東館
(特非)まどか アゲイン
(福)サンフレンズ特別養護老人ホーム上井草園
(福)真松之会 和田堀ホーム
(福)八成グループ
(特非)デイサービス夢の飛行船
(特非)けやき精神保健福祉会 けやき亭
(特非)杉並いずみ第一・第二
(特非)ともしび会 高齢者在宅サービスセンター 大宮ふれあいの家
(特非)杉並介護者応援団 ゆうゆう高円寺東館
(特非)まどか アゲイン
(特非)新しいホームをつくる会
ゆうゆう和泉館
まちナカ・コミュニティ 西荻みなみ
ふらり阿佐谷
株式会社 伊藤園 杉並支店

その他、募金箱に大勢の皆さまにご協力いただきました。

令和３年度　ボランティア保険のご案内

令和２年度ボランティア保険の保険期間は令和３年３月31日(水)までとなり、４月以降も引き続きボランティア活動を行う場合は、更新の手続きが必要となります。お問い合わせのうえ、手続きをお願いいたします。

※申請書は３月上旬以降配布予定

令和３年度ボランティア保険補償内容・保険料改定のお知らせ

改定内容

①Aプラン（基本コース）の保険料の引き上げ
300円→350円

②基本コースAプラン以外の補償金額変更

	基本コース		天災コース		
	B	C	天災A	天災B	天災C
死亡・後遺障害保険金額（千円）	17,000	22,800	13,100	23,600	32,300
入院保険金日額（円）	8,000	12,000	5,500	8,000	12,000

問合せ　杉並ボランティアセンター　☎03（5347）3939
ウェルファーム杉並４F　FAX 03（5347）2063

ありがとうございました　寄附者名簿

令和２年10月１日から令和３年１月31日まで
(お名前は承諾を得て掲載しています。)

〈団　体〉

荻窪北口大通商店会振興組合 女性部様	3,800円
公益社団法人杉並青色申告会 女性部様	2,861円
関東バス 労働組合様	56,215円
キャプテン株式会社様	3,000円
宗教法人真如苑様	200,000円
龍光寺様	200,000円
石井薬局 石井　明様	100,000円
セブンスデー・アドベンチスト 天沼教会様	10,000円
株式会社 ゆいわーく様	100,000円

〈個　人〉

坂倉　宏枝様	5,000円
玉木　伸雄様	10,000円
今村　冨美枝様	3,300円
原田　怜様	100,000円
鉄羅　長子様	10,000円
山本　容子様	10,000円
大久保　善平様	4,000円

〈匿　名〉

16件	249,500円

〈物品寄附〉

福島　博様……缶詰スープ、コーヒー
株式会社食文化様……食料品
公益社団法人杉並青色申告会
　女性部様……アクリルタワシ　使用済み切手
株式会社ミユキデンタルラボラトリー様…マジックライス
近藤　秋子様……うどん
杉並区立井荻中学校様……布マスク
鉄羅　長子様……未使用切手　使用済み切手
匿名……カップ麺１件、お米券２件
　クオ・カード１件、マスク１件
使用済み切手は、多くの方々からご寄附をいただいています。

食料寄附

昨年12月10日から令和３年１月29日まで、皆さまから食料のご寄附を募りました。缶詰、レトルト食品他、たくさんの食品をご寄附いただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

奥澤　美智子様
下奥　重望様
鹿島建設 鹿島ボランティアネットワーク様
匿名　16名

音声コード
専用の読み上げ装置で読み取ってください。

各ページの下端についている「音声コード」は、目の不自由な方などのために、本紙に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えるための二次元のバーコードです。専用の読み上げ装置で読み取り、音声で聞くことができます。なお、コードの位置を示すために切り込みを入れています。

編集後記

今号は、南相馬市社会福祉協議会 地域福祉課長　佐藤様と、杉並災害ボランティアの会 代表　多田様からご寄稿いただき、東日本大震災から10年の節目の特集号といたしました。また、コロナ禍での、防災の取り組みは、今までとは違う意識が必要だと改めて感じました。　（S・U）

ささえあう地域づくりが仕事です　社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会

すぎなみ社協No.198　令和三年三月一日発行　発行部数　十一万部　発行／社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会　〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並2階・4階 ☎03(5347)1010 FAX03(5347)2061　発行人／髙　武征